

川西市内の経済動向分析 ～地域ビジネス環境分析シート～

地域経済分析システム(RESAS)に新しく追加されたビジネス環境分析シートを用いて、隣接する他地域(宝塚市、伊丹市、池田市)と比べながら分析します。

ビジネス環境分析シートでは、①将来の人口増減 ②業種別の事業所数・従業員数 ③地域住民の消費状況が示されます。川西市は下記のとおりとなっています。(③は地域経済循環図で説明のため省略)

① 将来の人口増減	川西市					宝塚市	伊丹市	池田市
	2020年	→	2050年	増減数	増減率	増減率	増減率	増減率
総人口	152,321人	→	119,770人	-32,551人	-21.4%	-13.0%	-11.6%	-10.5%
年少人口	18,392人	→	12,691人	-5,701人	-31.0%	-24.7%	-24.1%	-18.6%
生産年齢人口	84,625人	→	57,788人	-26,837人	-31.7%	-26.2%	-23.5%	-17.1%
老年人口	49,188人	→	49,291人	103人	0.2%	24.4%	22.4%	17.2%

川西市では、総人口・年少人口・生産年齢人口の減少が他地域と比べて大きく進んでいます。一方で、高齢人口の増加率は0.2%と極めて低い数値となっています。

この状況は、若年層や働き手の流出に加え、高齢者の転出も進んでいることを示唆しており、川西市が

	令和2年	5年後		令和7年
60歳～70歳	20,534	→	65歳～75歳	19,679

市統計資料より

「縮小型人口構造」に移行している地域であるといえます。その結果、地域内の消費市場の縮小や、地元企業における慢性的な人手不足といった課題が生じます。

② 業種別の事業所数・従業員数

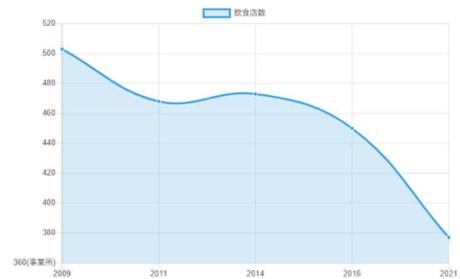
～人口増減によって影響を受ける生活関連ビジネス～

	事業所数			従業員数(人)		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減
I_織物・衣服・身の回り品小売業	109	93	↘	498	506	↗
I_飲食品小売業	243	186	↘	3,024	3,147	↗
I_その他の小売業	319	281	↘	2,419	2,403	↘
K_不動産取引業	74	63	↘	312	306	↘
K_不動産賃貸業・管理業	250	256	↗	743	853	↗
M_飲食店	451	378	↘	3,587	3,223	↘
M_持ち帰り・配達飲食サービス業	46	42	↘	546	533	↘
N_洗濯・理容・美容・浴場業	329	301	↘	1,186	1,140	↘
N_その他の生活関連サービス業	72	59	↘	419	305	↘
O_その他の教育、学習支援業	206	183	↘	986	1,107	↗
P_医療業	270	279	↗	4,351	4,800	↗
P_社会保険・社会福祉・介護事業	153	198	↗	3,910	4,243	↗

医療業および社会保険・社会福祉・介護事業においては、高齢化に伴う需要増を背景に事業所数が拡大しています。一方で、飲食店や「各種小売業(飲食品以外)」は、2021年はコロナ禍での

数値であるが、2009年からの推移をみると減少傾向である。人口減少や消費行動の変容に伴う市場縮小の影響を強く受けているものと推察されます。

また、飲食料品小売業については、事業所数が減少する一方で従業者数が増加に転じています。これは従来型の小規模な個人商店から、集約化された大型スーパー等への業態シフトが進んでいることを示唆しています。この傾向は、宝塚市でも見られます。



「生産年齢人口の激減（働き手の不足）」と「消費パワーの流出（市場の縮小）」が同時に進む厳しい経営環境下では、小規模事業者は「規模の拡大」ではなく「付加価値の向上と効率化」に舵を切る必要があります。そのためには、下記対応が必要と考えます。

1. 生産性向上による人手不足への対応

- ① デジタルツールの活用により、少人数で回せる体制を構築する。
- ② 「多能工化」の推進により、一人が複数の業務をこなせるようにし、繁忙期にも柔軟に対応できる組織にする。

2. 「ターゲットの絞り込み」によるファン化

- ① シニア層や社会を支える生産年齢へのサービス提供に特化する。
- ② ECサイトや大型モールでは代替できない「そこへ行く理由」を創出する。

3. 「連携」による経営基盤の強化

- ① 近隣店舗と共同で配送や仕入れ、スペースを共有（シェアキッチン、間借り店舗）する。
- ② 経営者の高齢化及び働き手がない状況での廃業を避けるため、事業承継（第三者承継やM&A）を早めに視野に入れる。